



自力登校とは何ですか？



これは生徒総会で、1年生が疑問に思った質問の一つです。委員会活動の中に「自力登校調査」というものがあつたので、出てきたのだと思います。確かに、

「え？、自分の力で登校しない、てどういうこと？」って不思議に思いますよね？でも、自力登校ができていない生徒がいるのも事実です。特に今の雨の季節となるとなおさらです。個人的な考えですが、**雨にぬれて登校することで学ぶこと**も多いと思います。雨にぬれて苦勞すること、靴がぬれすぎないように歩くにはどうしたらいいか、とか「靴下がぬれるから、替えをもていくか」とか「靴がぬれたから、明日までに乾かす方法は？」といった生活の知恵をつけることができます。まあ、いろんな事情があると思うので、すべてがいけないとは言いませんが、最低でも、親に送ってもらうことに対する**感謝の気持ちは持てほしい**と思います。今、送ってもら

雨ニモアテズ 風ニモアテズ
雪ニモ 夏ノ暑サニモアテズ
ブヨブヨノ体ニ タクサン着コミ
意欲モナク 体力モナク
イツモブツブツ 不満ヲイッテイル
毎日塾ニ追ワレ スマホニ吸イツイテ 遊バズ
朝カラ アクビヲシ 集会ガアレバ 貧血ヲオコシ
アラユルコトヲ 自分ノタメダケ考エテカエリミズ
作業ハグズグズ 注意散漫スグニアキ ソシテスグ忘レ
リッパケ家ノ 自分ノ部屋ニトジコモッテイテ
東ニ病人アレバ 医者ガ悪イトイイ
西ニ疲レタ母アレバ 養老院ニ行ケトイイ
南ニ死ニソウナ人アレバ 寿命ダトイイ
北ニケンカヤ訴訟(裁判)ガアレバ ナガメテカカワラス
日照リノトキハ 冷房ヲツケ
ミンナニ 勉強勉強トイワレ
叱ラレモセズ コワイモノモシラス
コンナ現代ッ子ニ ダレガシタ

(どこかの県の校長先生らしい 作)

いる生徒たちは、親が、自分の時間を削って、自分のために動いてくれているという感謝の気持ちを持っていますか？ 当たり前

と思いませんか？ とこんな話をしているのは、私が

過保護で、子どもを甘やかして育てていた経緯があるからです。それに気づかせてもらったのは、ある外科のお医者さんでした。娘をじん帯損傷のケガで病院に連れて行った時に、お医者さんから、私が怒られたこと、それは...
子どもを甘やかすな! でした。^

そこは、患者に厳しいことで有名で「じん帯くらい、足首をテーピングで固定して、アイシングをしながらかいて治せ! ギプスとかで動かんごつするけん弱くなっていくとたいい!」と怒られ、医者の学会で紹介されたという、宮沢賢治の替え詩を渡されました。(左下のやつ) 詩を読んで、「ああああ」と思いながらも、自分の娘への対応を考えると、そういう現代子にしているよな...と笑えませんでした。自分のためにしてくれることは当たり前、思い通りにいかないと周りのせいにして腹をたてて文句を言う。ああ、育て方を間違えたかな?とも思いました。世の中、誰も正しい育て方なんて考へてくれないし、自分の育て方があっているかもわからず不安でした。だから、今回の1年生の質問を機に、自分の失敗経験をもとに、何かを伝えられたら、と思って紹介しました。**過保護は子どもをダメにする、でも放任も子どもをダメにする。**そのあなばいがか難しいですね。また、国の文化の違いによる子育てをあらわした詩もありましたので、参考までに紹介しますね。

返信ありがとうございます!

「ありがとう」は本当に大切な言葉ですね。私も子供には汚い言葉は使わないで、とよく話しますが、自分に余裕がない時は思わず自分が使ってしまう。日々の小さな幸せに感謝し、子供たちにもそんな気持ちを大切にしよう伝えていきたいと思っています。

配布物、わたっているか調査!!

以前、学校からの配布物が手に届かないで保護者からありましたので、今回、どのおけの家庭に届いているか、調べてみたいと思います。
「見ました、だいていいのでおのARをよみこんで返信をお願いします!!」



「母親の最高の知恵」

子どもが道ばたで転ぶ。
アメリカの母親はどうするか。
じっと見ている。
助けに行かない。
自分で立ち上がるのを待つ。
独立心を植えつけるためだ。

日本の母親はとんで行く。
助け起こす。
「かわいそう、かわいそう」とほこりを払う。
その瞬間は母子ともにハッピーだ。
でも、将来を考えると暗い。

最高の知恵を持っているのは、アフリカの母親だ。
子どもが倒れる。
どうするか。
すばやく、自分も同じようにバタッと倒れる。
子どもはびっくりする。
「あ、お母さんも倒れたッ」
母親はひとりで立ち上がる。
それを見て、子どもは自分で立ち上がることを学ぶ。

これが母親の最高の知恵だろう。

(金平敬之助 作)